

地域との共生・コミュニケーションの強化に関する具体的な取組

- 長期にわたる廃炉作業を進めていくにあたっては、「復興と廃炉の両立」の大原則の下、より一層のリスク低減や安全確保を最優先としつつ、「地域との共生を進め、コミュニケーションを強化」していくことが必要。
- こうした考えに基づき、各自治体の皆様にも御協力いただき、「地元の方向けの視察・座談会」や、「イベント等での廃炉に関する説明ブースの出展」など、地域の方に向けた取組を強化。
- 来年度も更なる取組の拡充を図っており、引き続き御協力をお願いしたい。

視察・座談会

- 東京電力、自治体の皆様と連携し、発電所構内を視察して現状を直接御覧いただくとともに、座談会を通じて参加者の方々の疑問にお答えする取組を組み合わせ実施。
- 御参加いただいた方からは、「実際に現場を見ることができ参考になった」「廃炉に関連する地域活性化の取組について考えてほしい」「多くの人にこの取組に参加してほしい」等の御意見を頂いた。

<実績（【】は参加者数）>

2019年

6月15日 浪江町民向け視察・座談会【20名】

9月28日 浪江町民向け視察・座談会【13名】

10月19日 エネ庁・東電主催 視察・座談会【15名】

12月7日 エネ庁・東電主催 視察・座談会【29名】

12月14日 浪江町民向け視察・座談会【8名】

2020年

2月15日 エネ庁・東電主催 視察・座談会【58名】



イベント等での廃炉の説明ブースの設置

- 東京電力、福島県庁、自治体の皆様と連携し、地域のイベント等において廃炉に関する説明を行うブースを設置。福島第一原発のジオラマ模型なども活用しながら、皆様の廃炉に関する疑問にお答えすると共に廃炉に対する意見を伺った。
- 福島県内の方々を中心に、イベント等への参加のためにお越しになった福島県外の方々にも御来訪いただいた。
- 御来訪いただいた方々からは、「廃炉をわかりやすく理解できた」「顔を見ながら会話をすることは大事」「こういう機会をもっと増やしていくべき」等の御意見を頂戴した。

<実績（【】は訪問者数）>

2019年

- 5月11,12日 浪江町・まるしえの日【約65名】
- 8月10,11日 浪江町・夏祭り【約300名】
- 10月 5日 ふたばワールド@Jヴィレッジ【約400名】
- 10月26日 標葉祭り（浪江町、双葉町、大熊町、葛尾村）
【約85名】
- 11月23,24日 浪江町・十日市祭り【約400名】
- 12月 21日 ふくしま大交流フェスタ@東京【約380名】

2020年

- 2月 8,9日 浪江町・まるしえの日【約60名】

